

当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

研究会基本情報

タイトル: 「インドネシア周辺の少数言語・危機言語ドキュメンテーションに関する研究ネットワークの構築」(平成 27 年度第 2 回研究会)

2015 年度第 2 回研究会 (通算第 5 回目)

日時: 2016 年 2 月 15 日 (月) 14:00-17:00

場所: AA 研マルチメディアセミナー室(306)

使用言語: 英語

Yanti (AA 研共同研究員, Atma Jaya Catholic University of Indonesia)

“Phonological Structure of Jambi Malay”

Dominikus Tauk (Udayana University)

“Language documentation of Helong language, Timor, Indonesia”

研究会の概要

今回の研究会は **Documentary Linguistics Workshop(2016.2.6-13)** のコンサルタントとして AA 研に招へいした二人のインドネシア人研究者が自身の調査・研究について報告した。Yanti 氏は自身の母語であるマレー語ジャンビ方言 (スマトラ島ジャンビで話されているマレー語の変種の一つ) の音韻体系について報告し、Tauk 氏は自身の母語であるヘロン語 (ティモール島) の記録活動について報告した。二人の外国人研究員 John Bowden 氏と Anthony Jukes 氏 (いずれも共同研究員) も参加し、活発な議論が行われた。